

ジオパークのガイドマップにおける多重光源陰影段彩図の有効性—茨城県北ジオパーク構想を例に—

Effectiveness of color hillshade with multiple light sources for geopark guide maps : A case of the North Ibaraki Geopark Project

*鈴木 敬子¹、石川 剛¹、小荒井 衛²、今泉 利架³、武田 直樹⁴

*Keiko SUZUKI¹, Go ISHIKAWA¹, Mamoru KOARAI², Rika IMAIZUMI³, Naoki TAKEDA⁴

1. 株式会社東京地図研究社、2. 茨城大学、3. 朝日航洋株式会社、4. 茨城県北ジオパーク構想推進協議会

1. Tokyo Map Research Inc., 2. Ibaraki University, 3. Aero Asahi Co., Ltd., 4. Association for Promotion of North Ibaraki Geopark Project

日本国内では2018年時点で44地域のジオパークが認定され、それぞれのジオパークでは地域の特徴的な地形や地質を見処としたジオサイトの紹介や、教育や観光への活用を目的とした多数のガイドマップが作成されている。それらのガイドマップは、ユーザーが理解しやすい地形や地質情報が重要視され、高精度の標高データを利用したものや、GISによる地形解析結果を使用した地形表現が採用されているガイドマップも存在する。

茨城県北部を対象とした茨城県北ジオパーク構想においても、過去にジオサイトマップを作成しているが、地形や地質表現は必ずしも十分なものではなかった。そこで筆者らは、地形や地質を空間的に理解しやすい地形表現を検討し、本ジオパーク構想のジオサイトにおけるガイドマップの改訂を試みた。地形表現は、地図情報を表示しても見やすく実用的であること、また、ガイドマップとしての美しさと親しみやすさも要求されることを踏まえて陰影段彩図を適用することとし、縮尺や地域の特徴によって単光源、多重光源、多重光源疑似陰影の3種類を検討した。本発表ではその取り組みと、地形表現および地図表現について報告する。

※本研究は、茨城大学地質情報活用プロジェクトによる協力と、科学研究費補助金（課題番号：16K01213）の補助を受けている。

キーワード：多重光源陰影段彩図、茨城県北ジオパーク構想、ガイドマップ

Keywords: Color hillshade with multiple light sources, North Ibaraki Geopark Project, Guide map